

2023年11月22日

会員各位

日鉄エンジニアリング
北九州技術センター 安全衛生協力会

2023年ー2024年 年末・年始災害防止活動の実施について

I. 活動の趣旨

ご安全に！ 今年の当技術センター関係の安全成績は、休業3件、不休業0件及び軽処置13件が発生しています。更にグループ会社を含めると、休業11件、不休業9件、軽処置13件が発生しています。技術センター関係では墜落による災害はなく、年間重点活動に挙げた墜落災害防止対策が徹底されたと評価できます。グループ全体では昨年に比べ休業(17件⇒11件)、不休業(31件⇒9件)、軽処置(12件⇒13件)と件数は約4割減となっています。しかし、グループ会社において重大災害が発生しており、昨年に引き続き厳しい状況です。災害内容として、ちょっとした油断や危険軽視が見られ、一人ひとりの危険意識の持ち方と啓発意識を高めることにより災害を防止できたのではと考えられます。そこで、本期間の活動では年間重点活動事項の再徹底に加え、一人ひとりがしっかり安全に取り組み、災害ゼロを達成させましょう。

当協力会は、日鉄エンジニアリング(株)北九州技術センター殿の『年末年始労働災害防止強調期間活動』を展開するとともに、継続的实施すべき事項を日々着実に実行し、無事故で明るい正月を迎えましょう。

II. 活動期間 : 2023年12月1日～2024年1月15日

III. スローガン : 『無事故の歳末・明るい正月』(建災防)

IV. 重点実施・事項

1. 活動趣旨の啓発

- (1) 日鉄エンジニアリング(株) 安全衛生・環境部長メッセージの配信
- (2) 年末年始啓発声掛け ※ビラはメールで配布
- (3) 安全祈願祭の実施
- (4) ポスター、横断幕の掲示

2. 災害事例の再周知、現場での活用

- (1) 昨年から現在までに生じた災害事例を再度周知し危険に対する感度を向上させる
- (2) 上記災害状況において自部門にて類似点がある場合は再発防止対応を総点検する
 - ① 今年のNSEGrの休業災害を主とした事例が反映されているかチェックリストで確認しフォローする
 - ② 日々のKY、節目のKYおよび朝礼、安全大会での過去災害DB(SAGUR)の活用を推進する
 - ③ デジタルサイネージを活用した安全情報の展開(過去災害再現動画、安全教育啓発動画等)

3. 工事計画やKYにて行動面・人的災害要因の排除

- (1) 工事計画審議やリスクアセスメントは店社幹部が必ず参画し対策の漏れを防ぐ
 - ① 安全衛生審査会の確実な実施および審査会での法令・社内ルール準拠の確認を徹底し、リスクアセスメントを実施させる
 - ② 作業手順の周知会を作業員全員に実施する
 - ③ 施工管理者および施工管理者以外で現場に出る社員に対して、現場業務内容に応じた安全「教育」の実施
※安全基礎講座、統括安全管理講座、職長・安責者教育および特別教育等の受講の徹底
 - ④ 安全情報(法令改正、行政指導など)の把握・遵守
- (2) 工事の節目や予定外作業での「再KY」は現地現物KYとして必須ルール化する

- ① 工事計画の際に節目のKYの実施時期、作業変更ルールを定める
 - ② 管理・監督者は節目のKYを確実に実施し、作業変更・予定外作業発生時には定められたルールに基づき、RA・KYを実施させる
- (3) 指差確認(ひと呼吸運動・AAO 活動など)を全員に周知徹底しリスク(危険)を意識させる
- ① 安全大会等を通じ、不安全行動防止に向けた啓発を実施
 - ② 指差し呼称の実践と作業行動直前の安全確認を実施させる。(DS コンテンツ等を活用し啓発)
 - ③ 危険予知(KY)活動強化にて災害リスクを抽出し危険作業排除を指導する。
 - ・管理監督者は、積極的にKYに参加し指導する。
 - ・作業前に「一人KY実践カード」を活用した一人KYの実施と、作業の安全確認・点検を確実に行わせる。
 ※一人KY徹底のため、TBM時に一人KYカードを掲げ、安全唱和などにより携帯を促す

4. 高所作業・重機作業での綿密な作業計画・現場総点検

- (1) 高所作業と重機作業における作業計画時でのリスクの抽出(顕在化)を徹底する
- ① 工事計画は、現地諸状況を十分に考慮して抜けのないリスクアセスメントを実施し立案することを指導する
 - ② 高所作業の計画においては、開口部および開口部近傍での作業について、漏れなく墜落・転落防止措置(囲い、手摺、覆い、防網、安全带取付設備等)、飛来・落下防止措置(立入禁止措置、落下防止ネット、養生シート等)を計画することを指導する
 - ③ 足場計画においては、標準規格(枠組み・単管)・標準図から逸脱する足場は、必要に応じて構造図や構造計算書を含む詳細計画を確実に行わせ安全性を確認する
 - ④ 重機作業においては、作業計画を作成させ、有資格者・誘導員の配置と歩車分離を確実に行うことを指導する
- (2) 高所作業と重機作業における基本ルール遵守について現場総点検を実施する
- ① 作業状況の変化を現場・現物で確認した上で、適応した対策を行うことを指導する
 - ② 足場点検は確実に実施する。特に、墜落防止対策を重点的にチェックする

5. ライン管理者、店社スタッフによるパトロールの強化とパトロール時の作業員への声掛け

- (1) ライン管理者・店社スタッフ・協力会社事業主による現場巡視の強化
※作業員への声掛け、年末年始活動計画の実施状況確認

6. 身の回りの危険要因の点検と自己啓発の実施

- (1) 転倒災害防止
転倒災害防止資料(デジタルサイネージ、メール)を活用した自己啓発に努める
- (2) 交通災害防止
交通災害事例、安全運転マナー(自転車)、危険予測トレーニングに関する情報を活用し、交通災害防止に努める

7. 冬季特有の活動

冬季環境(路面凍結や積雪・強風等)に対する注意

- ① 積雪・凍結による転倒災害、墜落災害の防止(通路、階段、足場上の除雪、融雪措置)
- ② 一酸化炭素中毒の防止
(屋内で石油ストーブ等を使用する際の換気の徹底、自然換気の不十分な場所での内燃機関を有する機械の使用禁止)
- ③ 車両等のスリップ事故等の交通労働災害の防止
- ④ 作業時の保温・体操の実施
(防寒衣の着用等による保温の徹底。作業開始前及び作業の合間の筋肉をほぐす体操の励行)

V. 期間中の行事等

1. 12月1日(金) 日鉄エンジニアリング(株)安全衛生・環境部長メッセージの配信
2. 12月1日(金) 年末啓发声掛け ※メールでピア配布し放送で周知
3. 12月8日(金) 救急処置法講習会 @S館1階プレゼンルーム
4. 12月14日(木) 環境・エネルギー部会現場パトロール
5. 1月9日(火) 8:00～ 北九州技術センター安全祈願祭(高見神社)
6. 1月10日(水) 年始啓发声掛け ※メールでピア配布し放送で周知